



2024年1月31日

各位

会社名 株式会社シーティーエス
代表者名 代表取締役社長 横島 泰蔵
(コード番号：4345 東証プライム)
問合せ先 取締役 執行役員 横島 連
経営戦略本部長
(TEL. 0268-26-3700)

2024年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2023年4月28日に公表しました2024年3月期(2023年4月1日～2024年3月31日)の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

連結業績予想の修正について

(1) 2024年3月期 通期連結業績予想値の修正(2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,500	2,800	2,770	1,930	45.54
今回修正予想(B)	11,000	2,800	2,770	1,930	45.54
増減額(B-A)	△500	—	—	—	—
増減率(%)	△4.3	—	—	—	—
(参考) 前期連結実績 (2023年3月期)	10,797	2,691	2,722	1,758	41.51

(2) 修正の理由

当社は、「中期経営計画(2024年3月期～2026年3月期)」を策定し、従来のハード主体のレンタルから、データ・情報関連サービスの提供を主とする事業形態の転換を目指して取り組みを開始いたしました。こうした中、主力事業に関する進捗は次の通りとなっております。

・DDS事業

当事業においては「クラウドストレージサービス」「クラウド映像サービス」を中心に、統合的なサービスとして「サイトアシストサービス」の提案と、その活用ツールの開発に努めてまいりました。「サイトアシストサービス」については、顧客より一定の評価を得ているとともに、活用ツールについても年度内完成の目途が立った一方、開発の進捗そのものは当初想定より遅れたことなどが影響し、売上高は想定していた進捗を下回っております。一方で、「クラウドストレージサービス」「クラウド映像サービス」を中心に事業が拡大しており、利益面では概ね想定通り進捗しております。

・SMS 事業

当事業においては、DDS 商品・サービスによる新規獲得顧客をターゲットに、レンタルによる測量計測システム等の提案を行うことで、レンタルの普及と効率的な営業活動に努めてまいりました。具体的には、販売活動エリアの縮小及び高い専門性と手厚い現地支援を要する ICT 施工関連のレンタル商材の絞り込みにより、DDS 事業活動へリソースをシフトしてまいりました。その結果、反動により売上減少が想定以上に大きく、売上高・営業利益とも想定していた進捗を下回っております。

こうした主力事業の進捗状況を踏まえ、当初予想を下記の通り修正することといたしました。

①売上高

DDS 事業における「サイトアシストサービス」の開発遅延、SMS 事業においては第3四半期までの進捗状況に加え、第4四半期におきましても公共工事が勢いを欠く現状を踏まえると、購買ニーズの高まりも期待しにくい状況となっていることから、当初予想を下回る見込みとなり、通期連結業績予想を修正することといたしました。

②営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益

DDS 事業における「クラウドストレージサービス」「クラウド映像サービス」をはじめとしたレンタル・サブスクリプションサービスが堅調に推移している状況等を踏まえ、当初予想から変更はございません。

※上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって記載の予想値と異なる場合があります。

以 上